

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆地球温暖化対策計画が改訂 2040年度のCO2排出量73%削減へ

・政府は新たな地球温暖化対策計画を閣議決定。2050年のCO2排出量実質ゼロに向け、2035年度に13年度比で60%、40年度には73%削減する目標を新たに設定。家庭部門は40年度にCO2排出量71～81%削減を目標に、住宅を含めた脱炭素型の暮らしへの転換、高断熱窓・高効率給湯器の導入支援といった施策を盛り込む。

◆コメ価格高止まり、備蓄米放出表明でも「市場に出てこず」

・コメ流通市場の目詰まり解消に時間がかかっている。政府が備蓄米放出を表明し、3月上旬の初回入札前から期待された「口先介入」の効果による需給緩和は見られない。卸などは実際の効果を測りかねて様子見姿勢が強く、滞留する流通在庫の動きは鈍い。2月下旬のコメ卸間価格は1年前の3倍に高騰したまま。

◆倒産予備軍、政策金利1%なら400社超 新陳代謝進む

・「金利ある世界」の到来で倒産が増加。2024年の企業の倒産件数は1万件を超えた。内閣府がまとめた日本経済リポートでは、日銀が政策金利を1%に引き上げた場合、437社が「倒産予備軍」にあたると試算。新型コロナウイルス禍での実質無利子・無担保の「ゼロゼロ融資」が返済のピークを迎えたことや物価上昇が背景に。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆新築マンション価格6000万円超 24年全国平均、最高更新

・不動産経済研究所は2024年の全国の新築マンションの平均価格が前年より2.9%高い6082万円だったと発表。8年連続で過去最高を更新。建設費の高騰や供給不足などで上昇傾向が続いている。近畿圏が14.8%高の5357万円とけん引したほか地方主要都市でも軒並み上昇。福岡市は40.1%高で上昇率が最も大きかった。

◆合板在庫2.5%減 1月末、4カ月連続マイナス

・農林水産省の合板統計によると、住宅の壁や床に使う国産針葉樹合板の1月末の在庫量は前月比2.5%減の16万3453立方メートル。4カ月連続で前月を下回った。主要合板メーカーは1月に続き、2月からの出荷分も値上げを表明。価格が上がる前に商品を確認しておきたい木材問屋やプレカット会社が注文を増やし在庫の減少へ。

◆伸銅品生産、1月1.0%増 住設機器向け底打ちも

・日本伸銅協会がまとめた1月の伸銅品生産量(速報)は前年同月比1.0%増の5万1160トンだった。3カ月ぶりに前年同月を上回った。住設機器などに使う黄銅棒が低調だった前年の反動が表れた。全14品種のうち9品種が前年同月を上回った。なかでも黄銅棒の伸びが目立ち、7.3%増の1万1826トンと6カ月ぶりにプラスに転じた。

《 注目商品 》

■パーパス、業務用排気フード対応形給湯器 デザイナー新

・厨房内に排気ダクトがある地下飲食店などに設置されているエコジョーズ業務用排気フード対応形給湯器をリニューアル。本体色にシルバーメタリックを採用し、給気口カバーをラウンドフォルムに変更。デザイン性が求められる厨房空間に対応。



■エクセルシャノン、樹脂製防火窓のラインナップ強化

・防火・準防火地域に対応した20分遮炎性能と国内最高クラスの断熱性能を両立した三層Low-E 複層ガラス樹脂製防火窓。窓種に「外開き窓」「バルコニー窓」「勝手口ドア」を新たに追加。これにより、統一されたデザインの高性能樹脂サッシを選択可能。



■LIXIL、大形の内装・外装床タイル「ヴィコレ」

・大形の内装・外装床タイル「ViCORE(ヴィコレ)」シリーズに、多様な形状と繊細な流れ模様が特長の砂岩調の「ヴィコレ サンドリネア」と、セメントの質感と安山岩の柄模様をブレンドしモダンに仕上げた「ヴィコレ アンデセメント」の2デザインを追加。

